

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリームズ・21st 若松高須西校		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 20日		2026年 3月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 20日		2026年 3月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見を取り入れてもらいやすい環境になっている	午前中のミーティング時に各職員より意見を提案してもらっている	ミーティング以外にも書面やLINEなどを使用し、上長へ直接提案できるように制度設計する
2	業務改善に繋がるミーティングを定期的に行っている	・児童が来所する前にミーティングを実施し、そこで各職員より意見を聞き改善方法を決定する ・情報共有ノートを使用し、情報格差がないように務めている	各業務についてマニュアルを作成し、新人研修に使用する
3	職員の資質の向上を図るために、各研修予告資料を掲示している。また日程調整をし参加できるようにしている	全職員が研修予告を確認できるよう、職員室内のホワイトボードに掲示している	・福祉関係の研修以外にも幅を広げて研修を受講していく ・受講したい研修について職員からの意見を取り入れる

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	状況により児童が個別の部屋を使用できないことがある	施設内に指導訓練室が二部屋あるが、各学部ごとの利用時間帯になると使用不可となる	パーティションを準備し簡易的に区切れるようにする
2	活動プログラムの立案者に偏りがある	・未経験の職員も多く知識量に差がある ・研修体制が不十分	・職員の研修プログラムを充実させる ・先輩職員によるマンツーマンの指導を取り入れていく
3	支援終了後の振り返りを毎日できていないことで、各職員の疑問が流れてしまう可能性がある	小学部とキャリアズ(中高部)を分けて開所していることで、支援後はすぐに終業時刻となってしまう	各職員の気付きなどをその都度メモできるITツールを模索する ※支援後ではなく支援前に前日の振り返りを実施している